

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 心理学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
学部必修	LL000100	文学部総合研究	必修	1年	文学部に属する諸学の研究の全体像を理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	△
	LL000200	卒業論文	必修	4年	テーマ発掘力、調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力を養う。	卒業論文・研究	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学部選択必修	LL000300	入門講義（現代文化）	選択	1年	事物に対する幅広い視野を持てる。積極的に議論に参加できる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○	○	○
	LL000400	入門講義（社会学）	選択	1年	1 社会学における基礎的な概念を理解する。 2 現実社会における問題を、社会学的視角から発見する。 3 以上をとらえて社会学的な思考法を身につける。	講義	日本語のみ	◎		○	○	○	○
	LL000500	入門講義（心理学）	必修	1年	心理学における代表的な知見を学習し理解する。	講義	日本語のみ	◎		◎	△		
	LL000600	入門講義（歴史・地理学）	選択	1年	歴史・地理学各分野の概要と基礎的な方法論を理解する。	講義	日本語のみ	◎		○	○		
	LL000700	入門講義（日本語日本文学）	選択	1年	日本語と日本文学に関する知的好奇心を喚起し、理解力と読解力の向上を目指す。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	△	◎	○
	LL000800	入門講義（欧米言語文化）	選択	1年	欧米言語文化コースの各専攻の研究内容を理解する。	講義	日本語のみ	◎		◎			
	LL000900	入門演習（現代文化）	選択	1年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、ディシプリンの中核となる発想法や概念を習得し、併せてテキスト読解、文書作成、プレゼンテーション能力の基盤を培う。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
	LL001000	入門演習（社会学）	選択	1年	1. 問題発見力を習得できる。 2. 論理的思考力を習得できる。 3. 口頭・文章表現力を習得できる。 4. コミュニケーション力を習得できる。	演習	日本語のみ	◎		○	○	○	◎
	LL001100	入門演習（心理学）	必修	1年	心理学への関心と理解を深める	演習	日本語のみ	◎	◎	○	◎	◎	○
	LL001200	入門演習（歴史・地理学）	選択	1年	歴史・地理学各分野における基礎的な調査能力・文献や資料の読解能力を身につける。	演習	日本語のみ	○	○	◎	○	○	△
	LL001300	入門演習（日本語日本文学）	選択	1年	演習という形式の中で構造や語りの技法について双方向的に学び、小説を論理的に解釈し得る視点の獲得を目標とする。	演習	日本語のみ	◎	△	◎	△	○	◎
	LL001400	入門演習（欧米言語文化）	選択	1年	欧米言語文化コースの各専攻の研究方法を具体的な資料を使って実践する。	演習	日本語のみ	◎		◎			
	学科必修	LL600100	心理学概論	必修	1年	心の説明の変遷に関する知識の習得と現代の考え方との関連性の理解を図る。	講義	日本語のみ	◎		◎		
LL600200		心理学実験Ⅰ	必修	2年	心理学の実験遂行に求められる基本的知識と技能を習得する。	実習	日本語のみ	◎	△	◎	◎	◎	◎
LL600300		心理学実験Ⅱ	必修	2年	心理学の実験法および観察法、調査法の基本的知識と技能を習得する。	実習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
LL600400		心理的アセスメント	必修	2年	心理的アセスメントの諸技法の考え方および実技を習得する。	講義	日本語のみ	○	◎	○	◎	○	△
LL600500		心理学統計法	必修	2年	心理学研究に求められる統計の基本的な考え方、方法を習得する。	講義	日本語のみ	△		△	◎	○	○

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 心理学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL600600	心理学研究法	必修	3年	心理学の基礎的な研究方法に対する理解を図る。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	◎	○	
	LL600700	心理演習Ⅰ	必修	3年	演習テーマに基づく心理学の研究知見の多面的な理解を図る。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	LL600800	心理演習Ⅱ	必修	3年	演習テーマに基づく心理学の研究知見の多面的な理解を図る。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	LL600900	心理演習Ⅲ	必修	4年	各自が関心をもつ心理学テーマに基づき研究を遂行する。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	LL601000	心理演習Ⅳ	必修	4年	各自の関心に基づく心理学研究の遂行による人間行動の体系的理解を図る。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学科選択	LL601100	知覚・認知心理学	選択	2年	知覚・認知心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○		◎	○	○	
	LL601200	学習・言語心理学	選択	2年	学習・言語心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○	
	LL601300	比較心理学	選択	2年	比較心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○		◎	○	○	
	LL601400	臨床心理学概論	選択	2年	臨床心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○		◎	○	○	
	LL601500	発達心理学	選択	2年	発達心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○	
	LL601600	健康・医療心理学	選択	2年	健康・医療心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○		◎	○	○	
	LL601700	人体の構造と機能及び疾病	選択	2年	人体の構造と機能及びその疾病に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○	
	LL601800	教育・学校心理学	選択	3年	教育・学校心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○		◎	○	○	
	LL601900	産業・組織心理学	選択	3年	産業・組織心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○	
	LL602000	認知科学	選択	3年	認知科学分野の諸概念と実験に基づく認知的事象の理解を図る。	講義	日本語のみ	◎	○	○	◎	○	○
	LL602100	障害者・障害児心理学	選択	3年	障害者・障害児心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	○	◎	○	○
	LL602200	行動療法	選択	3年	行動の原理が、実際の心理臨床において行動療法としてどのように用いられているか、またその成果について理解し、説明することができる。	講義	日本語のみ	◎		○	○	○	○
	LL602300	社会・集団・家族心理学	選択	3年	社会・集団家族心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○	
	LL602400	感情・人格心理学	選択	3年	感情・人格心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	○
	LL602500	神経・生理心理学	選択	3年	神経・生理心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○	

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 心理学科

学習・教育 目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
(◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目 コード	科目名	科目 区分	配 当 年 次	授業の到達目標	講 義 形 態	使 用 主 語 す る	学習・教育目標との関連						
								①	②	③	④	⑤	⑥	
	LL602600	心理学的支援法	選択	3年	心理学的支援法に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎		◎	○	○	○	○
	LL602700	心理技術実習	選択	3年	心理学の実験および調査に必要な基本的技術を習得する。	実習	日本語のみ	◎	◎		◎	◎	◎	○
	LL602800	福祉心理学	選択	3年	福祉心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	○	◎	○		
	LL602900	司法・犯罪心理学	選択	3年	司法・犯罪心理学に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○		
	LL603000	精神疾患とその治療	選択	3年	精神疾患とその治療に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○		
	LL603100	公認心理師の職責	選択	4年	公認心理師の職責に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎		◎				
	LL603200	関係行政論	選択	4年	関係行政論に関する基本的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎		◎				
	LL603300	心理実習	選択	4年	心理臨床に関する実践的技術と知識を習得する。	実習	日本語のみ	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
英語	TW000100	Communicative English I	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。発信的言語能力（話す書く技能）を中心に基礎的語学能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW000200	Communicative English II	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。発信的言語能力（話す書く技能）を中心に基礎的語学能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW000300	Reading I	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。文法の基礎固めを行い、その知識を活用しながら講読する英文の内容をより正確に把握する能力を身に付ける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000400	TOEIC	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。TOEICの出題形式に慣れ、語彙や慣用表現を学び、ListeningおよびReadingセクションではすばやく必要な情報を把握する能力を身に付ける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000500	Practical English I	必修	2年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身に付ける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000600	Practical English II	必修	2年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身に付ける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000700	Reading II	必修	2年次	Reading Iの内容をさらに発展させ、国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身に付ける。その知識を活用して、より高度の英語リテラシーの獲得を目指す。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000800	Reading III	必修	2年次	Reading IIの内容をさらに発展させ、国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身に付ける。その知識を活用して、より高度の英語リテラシーの獲得を目指す。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000900	Current English I	選択	2年次	時事英語を通じ、現代社会の諸問題に対応できる基礎的英語運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001000	Current English II	選択	2年次	Current English Iで獲得した技能をもとに、現代社会の諸問題に対応できる基礎的英語運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001100	Communication Skills I	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて、実践的な英語の運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001200	Communication Skills II	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001300	Communication Skills III	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001400	Communication Skills IV	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学習に必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
中国語	TW001500	入門中国語Ⅰ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW001600	入門中国語Ⅱ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW001700	基礎中国語Ⅰ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW001800	基礎中国語Ⅱ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW001900	応用中国語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎中国語で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする。実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW002000	応用中国語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎中国語で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする。実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW002100	総合中国語Ⅰ	必修	2年次	中国語の講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて、辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW002200	総合中国語Ⅱ	必修	2年次	中国語の講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて、辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW002300	中国語会話（初級）Ⅰ	選択	1年次	中国語の発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002400	中国語会話（初級）Ⅱ	選択	1年次	中国語の発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002500	中国語会話（中級）Ⅰ	選択	2年次	中国語で表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す。発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002600	中国語会話（中級）Ⅱ	選択	2年次	中国語で表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す。発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002700	コミュニケーション中国語ⅠA	選択	3年次	中国語で質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002800	コミュニケーション中国語ⅠB	選択	3年次	中国語で質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002900	コミュニケーション中国語ⅡA	選択	3年次	中国語で文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
TW003000	コミュニケーション中国語ⅡB	選択	3年次	中国語で文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○					

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
フランス語	TW003100	入門フランス語Ⅰ	必修	1年次	フランス語の表現の最初歩（自己紹介、あいさつ、自分や家族について簡単に表現すること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003200	入門フランス語Ⅱ	必修	1年次	フランス語の表現の初歩（自分について、また自分の経験や予定について語ることができるようにすること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003300	基礎フランス語Ⅰ	必修	1年次	フランス語の文字と発音について学び、文法の基礎（「現在」の事象について理解、表現すること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003400	基礎フランス語Ⅱ	必修	1年次	フランス語の文法の基礎（「現在」のみではなく「過去」、「未来」の事象についても理解、表現できること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003500	応用フランス語Ⅰ	必修	2年次	フランス語の初級文法をさらに推し進め、簡易な文章が読める程度の語学力獲得を目指す。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003600	応用フランス語Ⅱ	必修	2年次	フランス語の初級文法の確認と復習をし、辞書を用いて文章が読めるレベルまでの読解能力を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003700	総合フランス語Ⅰ	必修	2年次	フランス語で「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003800	総合フランス語Ⅱ	必修	2年次	フランス語で「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003900	フランス語会話（初級）Ⅰ	選択	1年次	フランス語の会話の最初歩（最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004000	フランス語会話（初級）Ⅱ	選択	1年次	フランス語の会話の最初歩（最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004100	フランス語会話（中級）Ⅰ	選択	2年次	フランス語の会話の初歩（簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004200	フランス語会話（中級）Ⅱ	選択	2年次	フランス語の会話の初歩（簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004300	コミュニケーションフランス語ⅠA	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004400	コミュニケーションフランス語ⅠB	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
TW004500	コミュニケーションフランス語ⅡA	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○					
TW004600	コミュニケーションフランス語ⅡB	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○					

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
ドイツ語	TW004700	入門ドイツ語 I	必修	1年次	ドイツ語の文字と発音について学び、視覚機器を利用しながらリスニングおよび発音練習などを繰り返す。基本語彙についても学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW004800	入門ドイツ語 II	必修	1年次	ドイツ語の文字と発音練習を基礎として、いろいろな状況や場面における簡単な会話方法を通じ基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW004900	基礎ドイツ語 I	必修	1年次	ドイツ語の初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005000	基礎ドイツ語 II	必修	1年次	ドイツ語の初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005100	応用ドイツ語 I	必修	2年次	入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005200	応用ドイツ語 II	必修	2年次	入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005300	総合ドイツ語 I	必修	2年次	ドイツ語の聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005400	総合ドイツ語 II	必修	2年次	ドイツ語の聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005500	ドイツ語会話（初級）I	選択	1年次	ドイツ語の日常会話の運用能力、異文化への理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○				
	TW005600	ドイツ語会話（初級）II	選択	1年次	ドイツ語の日常会話の運用能力、異文化への理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○				
	TW005700	ドイツ語会話（中級）I	選択	3年次	ドイツ語の日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○				
	TW005800	ドイツ語会話（中級）II	選択	3年次	ドイツ語の日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
ロシア語	TW005900	入門ロシア語Ⅰ	必修	1年次	ロシア語の簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006000	入門ロシア語Ⅱ	必修	1年次	ロシア語の簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006100	基礎ロシア語Ⅰ	必修	1年次	ロシア語のキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006200	基礎ロシア語Ⅱ	必修	1年次	ロシア語のキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006300	応用ロシア語Ⅰ	必修	2年次	ロシア語の辞書と活用表を使用しながら、簡単なテキストが読めるようになることを目指し、同時に、ロシア文化に触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006400	応用ロシア語Ⅱ	必修	2年次	ロシア語の辞書の使い方に慣れ、ロシア語の初級および中級レベルのテキストを読みこなす読解力を養成しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006500	総合ロシア語Ⅰ	必修	2年次	入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく。特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006600	総合ロシア語Ⅱ	必修	2年次	入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく。特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
韓国・朝鮮語	TW006700	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	1年次	ハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し、基礎的語学能力を身に付ける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006800	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	1年次	ハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し、基礎的語学能力を身に付ける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006900	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	1年次	韓国・朝鮮語の初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身に付ける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007000	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	1年次	韓国・朝鮮語の初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身に付ける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007100	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007200	応用韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007300	総合韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007400	総合韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
ポルトガル語	TW007500	入門ポルトガル語Ⅰ	必修	1年次	ポルトガル語の文字、アルファベット、発音及びアクセントからはじまり、数詞、時間、日付、指示詞、所有代名詞、単数形・複数形、形容詞、前置詞、疑問詞、動詞の活用法等、一つのフレーズを作成する為のパーツを一つずつ学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○					
	TW007600	入門ポルトガル語Ⅱ	必修	1年次	ポルトガル語における表現幅及びニュアンスに対する理解を広げ、あらゆるものの一時的な状態、精神的及び身体的状態、人物、生物、物質の所在地、進行形、天気、場所を示す副詞等を学ぶ。一つの不規則動詞による幾つかの異なるニュアンス及び意味合い（用法、活用幅）を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○					
	TW007700	基礎ポルトガル語Ⅰ	必修	1年次	ポルトガル語における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ。目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○					
	TW007800	基礎ポルトガル語Ⅱ	必修	1年次	ポルトガル語における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ。目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○					

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
日本語	TW007900	日本語・表現 I	必修	1年次	日本語によるアカデミックな読み書き能力を身につける。さらに異文化を客観的に捉え、自己確立能力、基礎的語学能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008000	日本語・表現 II	必修	1年次	日本語によるレポートや論文を作成する応用力を身につける。論文作成では、特に構成力を学び、客観的な文章を書く力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008100	日本語・論文技術（基礎）I	必修	1年次	日本語を使用して社会的な情報を得る事を目的とし、論理的な思考に基づいたアカデミック・リテラシーの獲得を目指す。論理的な文章を読み、それを理解することで基礎的語学能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008200	日本語・論文技術（基礎）II	必修	1年次	日本語によって、高度な知識を得る事を目的とし、論理的な思考に基づいたアカデミック・リテラシーを獲得する。論理的な文章を読み、それを理解することで応用力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008300	日本語・総合 I	必修	2年次	日本語のアカデミックなレベルでの論理的表現の習得を目指す。様々な状況を客観的に説明し、問題解決を解決するために必要な日本語能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008400	日本語・総合 II	必修	2年次	日本語における論理的表現の習得並びに発表能力を高めることを目指す。社会的な問題についての新聞記事や論文を読み、それについてレジュメを作成し、討論、発表を通して自らの考えをわかりやすく伝える日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008500	日本語・論文技術（応用）I	必修	2年次	日本語による論理的な文章の読解リテラシーを身につける。「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能をバランスよく向上させ、「基礎」で習得したスキルをもとに応用力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008600	日本語・論文技術（応用）II	必修	2年次	日本語において、論理的な文章の読解リテラシー及び論理的な文章の作文力を身につける。「応用 I」で習得したスキルを向上させ、「文体」「文法」「文法」「文法」に配慮した文章力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008700	アカデミック日本語 I	選択	3年次	日本語によるアカデミックな文章力と構成力を身につけ、論理的でわかりやすい発表ができるようになる。パワーポイントによる発表、（提言、説明、意見表明などの）スピーチ、レジュメなどを作成する日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008800	アカデミック日本語 II	選択	3年次	日本語によるアカデミックな文章力と構成力を身につける。論理的な論文、レポートが書けるようになる。卒業論文作成に向けて、テーマ設定、構成、資料引用の仕方を理解し、論文を書く日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW008900	ビジネス日本語 I	選択	3年次	日本語による待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ。地域や社会の構成員として、日本人を含む他者との円滑なコミュニケーションをとるための日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					
	TW009000	ビジネス日本語 II	選択	3年次	日本語による待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ。電話のかけ方、依頼、断り、メールの書き方などのビジネスマナー及びそれに伴う日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○					

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
外国理解	TW009100	世界の言語Ⅰ	選択	2年次	ロシア語あるいはポルトガル語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ロシア語 ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009200	世界の言語Ⅱ	選択	2年次	ロシア語あるいはポルトガル語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ロシア語 ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009300	ラテン語Ⅰ	選択	2年次	ラテン語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ラテン語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009400	ラテン語Ⅱ	選択	2年次	ラテン語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ラテン語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009500	ギリシャ語Ⅰ	選択	2年次	ギリシャ語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ギリシャ語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009600	ギリシャ語Ⅱ	選択	2年次	ギリシャ語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ギリシャ語 日本語	○	○		◎	○					

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
数理・情報分野	TW010500	教養数学	選択	1年次	数学の基礎的な力とそれをもとにした論理的思考力を習得し、物事や事象を、数学を通して理解する力量を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW010600	数理科学	選択	1年次	社会現象や自然現象を、数学理論を通して理解することのできる、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW010700	確率入門	選択	1年次	確率の定義と基本的な性質を学習し、確率に関する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW010800	統計入門	選択	1年次	統計学の考え方および統計の基本的な性質について学び、簡単な統計量を求める能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW010900	情報倫理	選択	1年次	ネットワーク社会を生かすために必要な倫理、及びその基礎理論・知識を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW011000	マルチメディア表現	選択	1年次	音、静止画、動画等の様々なコンテンツを理解し、これらを組み合わせた効果的な表現方法を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW011100	ネットワーク演習	選択	1年次	インターネットをはじめとする各種ネットワークの仕組みを理解し、簡単なLAN構築ができるようになる。	演習	日本語		○				◎				
	TW011200	社会データ分析入門	選択	1年次	統計データの扱い方と表計算ソフトの使い方を習得することにより、データの分析や表現と解析能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW011300	プログラミング	選択	1年次	ソフトウェアの仕組みを論理的に考える能力を獲得し、プログラムを用いて簡単な機能構築ができる。	講義	日本語		○				◎				
	TW011400	情報の科学	選択	1年次	論理の操作、進数の変換、文字、画像、音声などの容量計算、文字データの検索や置換、表計算ソフトをつかったデータ処理の基礎的能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW011500	情報と社会	選択	1年次	知的所有権や個人情報など基本的な法規や、広告や評判システムのしくみを学び、賢い選択を可能にする基礎を築き、数量だけでなく、つながり方に注目して事象をみる眼を養う能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW011600	情報総合演習	選択	1年次	文書作成やデータ処理などの基礎的な情報リテラシー能力を演習を通して習得するとともに、デジタル化などの情報処理の基本的な手法を身につける。	演習	日本語		○				◎				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
自然分野	TW011700	物質の科学	選択	1年次	様々な物質に関する科学的知識と科学的素養、および物事を科学的論理的に分析できる思考能力を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW011800	地球の科学	選択	1年次	地球科学の基礎的な知識を習得し、身の回りの自然現象のメカニズムや地球進化の過程の理解を通して科学的素養を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW011900	宇宙の科学	選択	1年次	宇宙に関する内容を中心にした学習を通して、自然科学に対する苦手意識を無くし、興味関心を高める基礎的学習能力を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW012000	生命の科学	選択	1年次	生命活動に関する科学的基礎知識を、食行動の視点から理解することにより、安全で健康な生活とは何かを分析・思考できる科学的素養を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW012100	環境の科学	選択	1年次	地球温暖化など多様な環境問題とその背後にある地球環境のメカニズムを理解し、今後の地球環境を自ら考える力を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW012200	科学技術史	選択	1年次	様々な科学技術の歴史の概要を知り、それが人類文明の中でどのような意味があるのかを理解する。	講義	日本語	◎	○								
	TW012300	現代技術と社会	選択	1年次	現代社会を基礎づける様々な科学技術に関して、その原理と社会への影響を考えられる基礎的学習能力を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW012400	地球環境問題	選択	1年次	地球環境問題の本質と構造を正しく理解し、対応を模索する基礎的学習能力を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW012500	自然環境と地理	選択	1年次	自然地理学の分野を中心に世界の諸地域の多様な自然環境に関する知識を習得し、自然環境の分析能力を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW012600	動物行動学	選択	1年次	ヒトを含む動物の行動を対象に研究する学問である動物行動学について基礎的知見を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW012700	健康科学	選択	1年次	身近な健康問題から自身の健康管理の方法を学び実践する。我が国の死因の多くを占める生活習慣病について基礎知識を身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
	TW012800	スポーツ工学	選択	1年次	スポーツ工学やスポーツバイオメカニクスに関する専門用語や法則、研究方法等を実際のスポーツ場面に合わせ身に付ける。	講義	日本語	◎	○								
TW012900	トレーニング科学	選択	1年次	トレーニングの生理学的基礎・力学的基礎・生物学的基礎ならびにトレーニングの原理・原則、基礎的方法を身に付ける。	講義	日本語	◎	○									

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
社会分野	TW013000	歴史学	選択	1年次	様々な歴史事象と歴史観を学び、歴史学の基本は史料から史実を見出すことが重要であることを理解し基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013100	考古学	選択	1年次	考古学の方法論と成果について理解し、考古遺物と遺構から明らかになる歴史事象を踏まえた基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013200	地理学	選択	1年次	日本列島など世界の諸地域の地理的性質と抱える課題を理解しつつ、多様な空間スケールで社会の諸事象を把握・考察する力を養う。	講義	日本語	◎	○								
	TW013300	社会学	選択	1年次	社会学の基本的な考え方や概念を理解することにより、日常生活の中で遭遇する具体的な問題や出来事について、社会的現象との関連を想像しつつ考えるための基礎能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013400	政治学	選択	1年次	政治の機構（国会や内閣、官僚制など）や政治の過程（選挙、政党、利益集団など）の意義や働きを理解し、民主政治のあり方について考察できる分析力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013500	経済学	選択	1年次	現代経済の仕組みを理解し、経済学の基礎理論を修得し、経済問題を自分で考えることができる力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013600	法学	選択	1年次	法学の基本知識を学ぶことを通し、個人の尊厳性にもとづく人権の意義について考える力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013700	経営学	選択	1年次	企業をはじめとする組織の経営に関して、受講者が自ら問題を発見し、それを分析する力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013800	憲法学	選択	1年次	憲法の基本的な原理やしくみを理解し憲法に基づいて物事を考える基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013900	レクリエーション論	選択	1年次	様々な対象者の交流について学び、地域の社会資源を積極的に調べ学ぶこと、レクリエーション活動を実施する際の情報収集・企画・実施・評価の手順を学び、手順にそった企画書が作成できる基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
TW014000	ジェンダー論	選択	1年次	ジェンダーという概念を理解し、ジェンダー視点をもって社会のありよう、あるいは個人の生き方などを考える基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解、地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
人文分野	TW014100	哲学	選択	1年次	哲学の思考法について一定の理解を得ると同時に、今日の人文系諸学のパラダイムを概観し基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW014200	論理学	選択	1年次	論理的に真である（正しい）とはどういうことかを理解し、日常生活でも論理的な正しさを実践できることを身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW014300	宗教学	選択	1年次	宗教の様相を学ぶことで、宗教と社会との関係について理解を深め、主体的に宗教について考えるための基礎知識および方法を習得する。	講義	日本語	◎	○								
	TW014400	心理学	選択	1年次	教養としての心理学全般を学ぶ。学問としての心理学が扱うものと扱わないもの、できることとできないことの違いを正しく理解し、実社会における心理学の現実的な応用可能性について考えることができるよう基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW014500	文化人類学	選択	1年次	文化人類学に関する基礎知識を得るとともに、文化人類学の方法を知り、文化について考察できる基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW014600	現代の思想	選択	1年次	様々な現代思想について学習し、現代社会が抱える諸問題について考えるための基本的知識を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW014700	民俗学	選択	1年次	民俗学の歴史や方法論、成果について学習し、民俗学に関する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW014800	スポーツ文化論	選択	1年次	スポーツが文化であることを理解・説明でき、次世代にスポーツ文化を正確に伝播できる基礎知識を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW014900	日本事情Ⅰ	選択	1年次	日本についての理解を深め、アンケート調査やレポート作成とその発表のスキル、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW015000	日本事情Ⅱ	選択	1年次	日本の社会問題や社会事情についての理解を深め、それらについて自ら調べて発表する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW015100	文学	選択	1年次	古今東西の文学作品の鑑賞を通じて、その表現、テーマを学び、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW015200	日本語学	選択	1年次	日本語について多様な角度から、学問的知識を学び基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW015300	古典の世界	選択	1年次	古典文学に親しみ、文字文化への興味を喚起しつつ読解力や表現力を高め、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW015400	言語と文化	選択	1年次	言語と文化の特質を知り、世界におけるその位置と役割について知ることで基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW015500	芸術論	選択	1年次	芸術における自然や自由の意味などの各種論点を考え、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
総合		総合科目	選択	1年次	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける。	講義	日本語	△	◎	○							
	TW015600	総合演習	選択	2年次	共通教育各分野を総合的に包括し、演習形式授業にて専門教育科目に必要な学習能力を身につける。	演習	日本語	△	◎	○							
	TW015700	キャリアデザイン基礎	選択	1年次	キャリアに関する視点や理論を学ぶことで、自分自身のキャリアデザインを描き、その実現に向けた計画力を身に付けることができる。	講義	日本語	○	◎	△							△
	TW015800	キャリアデザイン応用	選択	2年次	キャリアや労働などが持つ意味を多面的領域から考察することを通じ、キャリアに対する客観的な理解力と主体的な姿勢を身に付けることができる。	講義	日本語	◎	○	△							△
	TW015900	キャリアデザイン特殊講義	選択	2年次	特定分野のキャリア等について学ぶことを通じ、自分自身のキャリア形成意欲を高め、将来に対して明確な目標と方向性を持ち、その実現に向けた思考力を身に付けることができる。	講義	日本語	○	△	◎							
体育	TW016000	スポーツ・健康演習	必修	1年次	健康演習で得られた食生活および生活習慣病に関する知識に基づき、自分自身の生活を振り返ると共に健康的な生活を送るための生活プランを立てることができる。 体力測定演習で得られた自分のデータに基づき、体力の維持・向上を目的とした無理のない運動プランを立てることができる。 屋内・屋外種目として実施したスポーツ種目について、種目の特性を活かした身体運動を実施することができる。 各種トレーニングについて目的に合わせたトレーニングを選び実践することができる。	演習	日本語	○		○							◎
	TW016100	スポーツ実技 I	選択	2年次	継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける。	実技	日本語	△		○							◎
	TW016200	スポーツ実技 II	選択	2年次	継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける。	実技	日本語	△		○							◎